

セルビブリオ・ジャポニクス由来のラムノガラクトツロン酸リラーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-1565

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ラムノガラクトツロン酸リラーゼは、エンド-**1,4- α** -ラムノガラクトツロン酸リラーゼです。この酵素は、次の化学反応を触媒します：ペクチンの分岐毛状領域におけるラムノガラクトツロン酸Iドメインの**L- α** -ラムノピラノシル-**(1- $\rightarrow$ 4)- α -D-**ガラクトツロン酸結合のエンドタイプ除去切断を行い、還元末端に**L**-ラムノピラノースを、非還元末端に**4**-デオキシ-**4,5**-不飽和**D**-ガラクトツロン酸を残します。

別名 エンド-**1,4- α** -ラマノガラクチュロナーゼ; EC 4.2.2.-

製品情報

種	セルビブリオ・ジャポニクス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および 25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 4.2.2.-
分子量	79.6 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	0.5 mg/mL
最適pH	9.0-10.0
最適温度	45 °C
特異性	ラムノガラクトツロン酸

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。